

早期地震検知機能搭載可能(オプション)

仕様

計測部 SAS-361 仕様

分類	項目	仕様
感震器	測定最大加速度	水平成分 ±4000Gal 垂直成分 ±3000Gal
	分解能	0.63mGal
	測定成分	3成分 (X,Y,Z)
A/D変換部	変換器	ΔΣ型 24ビット
	サンプリング周波数	100Hz
	周波数特性	0~40Hz
	ダイナミックレンジ	130dB以上
	サンプリング同期	高精度内部時計に同期
通信部	処理部・計測部通信	RS-422 38400bps
一般仕様	電源	約 DC15V (処理部より供給)
	消費電力	約 6W
	停電対策	処理部のバッテリーバックアップによる
	動作環境条件	周囲温度: -20℃~+60℃ 相対湿度: 100%以下(結露しないこと)
	防水性	JIS C 0920 保護等級7(防浸型)
	外形寸法(突起部除く)	(φ)278mm×(H)95mm
質量	約 5kg	

処理部 STR-361 仕様

分類	項目	仕様
性能	気象庁検定	震度7対応検定品(気象庁指定のアルゴリズム計算による)
演算部	演算内容	地震観測時刻、震度階級、計測震度、最大加速度卓越周期、SI値 早期地震検知情報(オプション)
	震度階級	震度0,1,2,3,4,5弱,5強,6弱,6強,7(10段階)
	起動方式	トリガレベル方式(計測震度、3成分加速度、SI値より選択)
時刻校正部(オプション)	校正方式	GPSまたは時報検出ラジオまたはNTPによる
記録部	媒体	1GB CFカード
通信部	シリアル通信部	RS-232C(2ポート)
	LAN通信部	10BASE-T/100BASE-TX(2ポート) TCP/IP, FTP, Telnet
表示部	ディスプレイ	5.7型 256色 TFTカラー液晶
	解像度	320×240ドット
操作部	入力方式	タッチパネル
印刷部	記録内容	震度、加速度、波形、設定情報、各種履歴等
	記録方式	サーマル印字
一般仕様	電源	AC100V±10V 50/60Hz
	消費電力	待機時: 40W以下 動作時: 50W以下
	停電対策	内蔵バッテリーにより約60分間バックアップ可能(満充電時、計測部を含む)
	動作環境条件	周囲温度: -10℃~+50℃ 相対湿度: 90%以下(結露しないこと)
	外形寸法(突起部除く)	(W)430mm×(H)249mm×(D)135mm
	質量	約 10kg

●本機の仕様や外観デザインなどは、改良のために予告なく変更することがあります。 ●本カタログの製品写真と実機の色彩とは、印刷の都合により多少の差異が生じる場合があります。

製造発売元 URL: <http://www.tacy.co.jp/>
TACU 株式会社 高見沢サイバネテック

本社 東京都中野区中央2丁目48番5号 TEL03(3227)3361(代)

本社営業部 TEL03(3227)9255(代) 福岡営業所 TEL092(472)6207(代)
 大阪営業所 TEL06(6363)8991(代) 長野営業所 TEL0267(82)7344(代)
 名古屋営業所 TEL052(582)8201(代) 高崎営業所 TEL027(327)2321(代)

長野第一工場・長野第二工場・長野第三工場・長野技術棟
 海外事業所 上海駐在員事務所

取扱店

●このカタログの内容は、2016年2月中旬のものです。

1602・B・500 Tacy-SM

表示機器(オプション)

早期警報盤 IP-361



■早期地震検知情報を受信したときに、予想震度と本震到達までの時間を表示します。
 ■到達までの予想時間は、1秒毎にカウントダウンして0まで表示します。
 ■予想される地震の規模について、音声ガイダンスを行います。

外形寸法: (W)230mm×(H)300mm×(D)70mm

遠隔表示盤 IP-310C



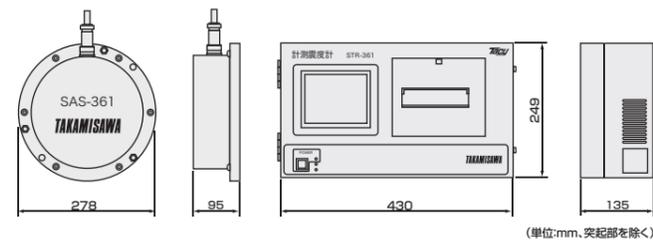
■地震発生時刻、現在時刻、震度階(10段階)、および最大加速度を表示します。
 ■RS-422I/Fにて、4台まで増設可能です。
 ■内蔵バッテリーにより、停電時に約60分間の表示が可能です。

外形寸法: (W)560mm×(H)420mm×(D)100mm

外形寸法図

計測部 SAS-361

処理部 STR-361



(単位:mm,突起部を除く)

安全なご使用のために

- ご使用の際には、取扱説明書を必ずお読みの上、それに従って、適切な操作を行ってください。
- 地震の発生メカニズムは、現在の科学技術水準においても、まだまだ解明されていない要素が多く、予測が困難な事態が起こる可能性があります。そのため、本機の性能は、すべての地震発生時に、地震の速報を検知して早期警報を行うことを100%保証するものではありません。本機の動作結果が間接的に地震発生時の損害の要因につながったと後日判断された場合にも、当社はその賠償責任を負いかねますことを、予めご了解の上ご使用ください。

計測震度計

気象庁検定品 STR-361型

早期地震検知機能搭載可能

予測して守る!



震災時のすばやい初動体制は、 正確な震度情報のキャッチから

気象庁指定アルゴリズムを用いて、地震発生時に0から7までの震度階を計測して表示する気象庁検定合格の計測震度計です。地震に付随する種々のデータを記録・保存し、そのデータを上位システムに通報するための通信機能を備え、オプションの早期地震検知機能を搭載することにより、早期地震警報システムを構築することができます。

◆ 処理画面の画面イメージ



◆ 特長

◆気象庁検定品

計測震度計として、気象庁検定に合格しています。

◆早期地震検知機能

早期警報用地震計における地震諸元推定アルゴリズム仕様（財団法人鉄道総合技術研究所と気象庁の共同特許）に基づく演算機能の搭載が可能です（オプション）。

◆ネットワーク対応

TCP/IP、FTP、Telnet の各種プロトコルに対応しています。また、モデム通信により、ダイヤルアップ通信が可能です。

◆震度リアル演算方式による情報処理の高速化

地震トリガ起動から 2.5 秒後に上位システムへ地震情報の伝送を開始する速報機能により、即時警報システムの構築が可能です（当社独自：特許 第 3241486 号）。

◆高性能 A/D 変換技術により 130dB 以上の 高ダイナミックレンジを実現

24 ビットデルタシグマ A/D コンバータを採用。加速度センサーの特性をフルに発揮させる高ダイナミックレンジで高精度の計測データが得られます。

◆大容量コンパクトフラッシュカードを実装可能

コンパクトフラッシュカードに地震情報や波形データを多数記録できます。パソコンでのデータ分析などに活用できます。

◆視認性の良いカラー液晶ディスプレイ

タッチパネル式の 5.7 インチカラー液晶ディスプレイを採用。対話形式によるデータ表示や設定操作が可能です。

◆ 震度情報ネットワークのシステム構成例

複数地点に設置して観測し、上位システムで情報収集することにより、震度情報のネットワークシステムを構築することができます。システム化により、震度情報を早期に収集し、防災対策や自動機器の制御等に利用できます。

